

かけはし

金橋小学校だより No.12

2026(令和8)年7月10日

発行者:伊禮徳彦

学校のくらしをより豊かに楽しく ②

学校のくらしをより楽しくするには、子どもたち自身が楽しくなることを考え、自分たちで楽しい学校をつくっていく。

4月の代表委員会で今年の金橋小学校のめあてが決まりました。

みんなで協力

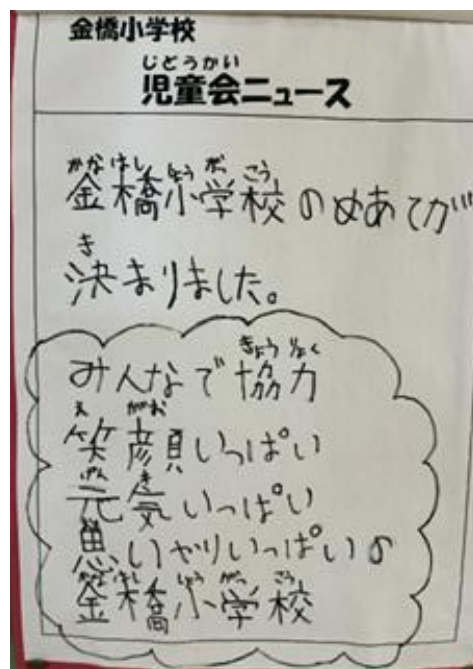
笑顔いっぱい

元気いっぱい

思いやりいっぱいの

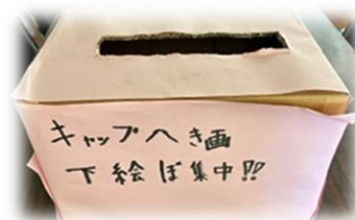
金橋小学校

このめあてを達成するために、子ども自身が思いをもって、自分たちで考え、進んで実行し、自分たちで解決していく活動＝児童会活動が行われます。



来週の火曜日、第3回代表委員会を予定しています。そのお知らせをしました。議題は、「ペットボトルキャップへき画を作ろう」。提案者は運営委員会さん。提案理由は、「今の1年生にもかなのびちゃんを知ってほしくて、もっとかなのびちゃんを広めたい」です。運営委員会の子たちの思いを全校に広げていきます。

代表委員会を前に、運営委員会さんが全校のみんなに下絵を募集しました。募集箱の中にはなんと235枚の下絵がはいっていました。この中から運営委員会で話し合い、10の候補に絞り込みました。



10の候補を低学年昇降口に掲示しています。

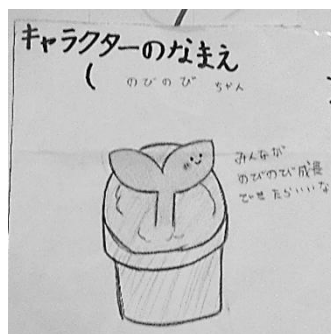
各学級でこの中から2つを選ぶ話し合いを行います。各学級の思いを話し合い、それを学級の意見として、来週の代表委員会で出します。

代表委員会では、各学級の代表の子と運営委員会の子、低学年の先生方が話し合い、最終図案を決めていきます。

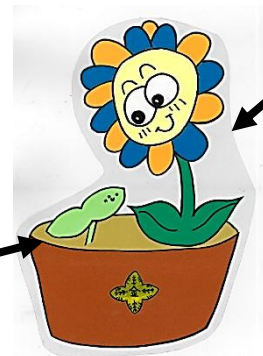
さて、どれに決まるのか、とても楽しみです。



学校キャラクター「かなのびちゃん」も3年前に今回のような流れを経て、決まりました。



のびちゃん：低学年を表し、
がんばる高学年にあらが
る児童を表現。



かなちゃん：高学年を表し、
低学年を見守る様子を表現。

「かなのびちゃん」は学校のいろいろなところで見ることができます。低学年昇降口にある顔出しパネルは金橋小学校にしかないものです。今回も、金橋小学校にしかない壁画が生まれそうです。ペットボトルキャップを使って、どんな壁画ができあがるのか、楽しみです。

～ペットボトルキャップ壁画を作ろう！～

○金橋小学校では、児童が主体となってよりよい学校づくりを行い、学校生活の課題を自治的に解決する態度を育てることを目的として委員会活動を行っています。

その委員会の一つに「運営委員会」があります。本年度、運営委員会より「一年生に、もっとかなのびちゃんのことを知ってもらおう」というめあてをもって、ペットボトルキャップ壁画を制作することになりました。

その壁画の制作において、夏休みの間にできる限りたくさんのペットボトルキャップを集めてください。集めていただいたキャップは洗浄いただき、2学期にお子さんに持たせていただくようお願いします。

児童の活動がスムーズに運ぶよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

運営委員会担当より